

いちき申木野 街あるき MAP 照島



フィッシャリーナ



なぎさ公園



照島海の駅



海の駅食堂



⑨方土 徐福登陸の地
約2200年前、秦の始皇帝の命を受け「不老不死」の妙薬を求めて方士徐福一行が上陸したと伝承されます。



⑩驪龍巖 (りりょうがん)
寛政2年(1790)3月、島津家26代齋宣公が市来温泉に湯治に来た折り、照島に立ち寄りました。男池と女池を眺めて、しばらくして男池の上にある岩に驪龍巖(りりょうがん)と書かせ彫刻させました。



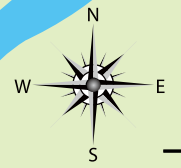
浜競馬

312 → 至国道3号線 (峠ノ尾交差点)

照島 海の駅

照島 海の駅食堂

①大鳥居



→ 浜競馬場 (4月開催)

石田耕三の歌碑 ●

なぎさ公園 ●

②太鼓橋

平べどんの角 ●

唐ねこどん(こま犬) ③

④さつま焼 陶工上陸地

手洗鉢 ⑤

⑦経塚の碑

⑧照島神社

⑥馬頭観音

方土 徐福登陸の地 ⑨

⑩ りりょうがん 驪龍巖

⑪ 男池 (おぶち)

⑫ 女池 (めぶち)



⑪男池 (おぶち)



⑫女池 (めぶち)

日本神話に出てくるイザナギノミコトとイザナミノミコトの御子夷の三郎の神は、三歳になっても足が立たないので葦の舟で島平浦に流れ着き、上陸された島を「照島」と名付けました。鉢が回復するまで照島で釣りをして楽しんでいました。釣りをしていた場所をナギ池(男池)ナミ池(女池)と称され御両親神を偲ばれていたそうです。



①大鳥居

大鳥居は元々道路側にありましたが、区画整理の為、現在の場所に移っています。現在の鳥居の場所は、かつて漁協があった場所です、ここで水揚げがされていました。



②太鼓橋

照島は、東西250m、南北100mぐらいの小島ですが、怪石、奇岩が多く四季の変化に富んでいます。陸と島をむすぶ朱の太鼓橋は、松の緑に映えて美しく、年月を経た石段を登ったところに照島神社があります。現在の橋は3代目で、昭和59年3月に完成しました。



③唐ねこどん(こま犬)

普通は狒犬ですが、照島神社は唐ねこどんが「あー」「うんー」と口を開けて座っています。(物事の始まりは「あ」で始まり「うん」で終わる。すなわち全てという意味。)



④さつま焼陶工上陸地

慶長3年12月、島津義弘・忠恒親子が朝鮮出兵の際朝鮮陶工70余名を連れて凱旋しましたが、鹿児島に行くことを拒んだ43名の陶工達が、この地に上陸しました。



⑤手洗鉢

元禄14年(1701年)ころ、海の事故で沢山の漁師の方が亡くなられ、亡くなられた方を供養するために造られました。



⑥馬頭観音

馬、牛、他家畜の守り神で食べ物神様です。働きものの馬、牛を供養するために作られました。



⑦経塚の碑

その昔、冠岳の修行僧が照島にあった大きな洞穴の中で修行してました。そのような事から照島には、お寺にちなんだものが沢山出てきたそうです。



⑧照島神社

日本書紀によると、照島湯で、蛭子神が、魚釣りを楽しまれたそうです。大阪の住吉大社と同じ御利益があります。御祭神は「商売繁盛」の大己貴命(おおなむちのみこと)、少彦名命(すくなひこのみこと)、「山の神様」の大山積命(おおやまづみのみこと)です。